

学位論文要約

米国における多文化音楽教育の受容と展開に関する研究
-多文化音楽教育論と多文化音楽教育教材の検討を通して-

広島大学大学院 教育学研究科

文化教育開発専攻 音楽文化教育学分野

D083531 峯 恭子

論文題目

米国における多文化音楽教育の受容と展開に関する研究

—多文化音楽教育論と多文化音楽教育教材の検討を通して—

論文構成

序章

第1節 本研究の背景

第2節 先行研究の検討

第3節 本研究の目的と方法

第I部 World Music への関心の高まりと多文化音楽教育導入の兆し (1967-1983)

第1章 音楽教育界の変化と改革

第1節 タングルウッドシンポジウム (1967) と多文化音楽教育

第1項 タングルウッドシンポジウムの概要

第2項 タングルウッドシンポジウムの目的

第3項 タングルウッドシンポジウムにおける多文化の音楽への関心

第4項 タングルウッドシンポジウムにおける文化的マイノリティの音楽への関心

第5項 タングルウッドシンポジウムにみる多文化音楽教育的側面

第2節 The Goals and Objectives Project (1969) によるタングルウッド宣言の実現

第1項 GOプロジェクトの概要

第2項 GOプロジェクトの目標及び目的

第3項 GOプロジェクトにおける成果及び多文化音楽教育的側面

第3節 タングルウッドシンポジウム及びGO Projectにおける多文化音楽教育の特徴

第2章 1970年代初期の音楽教育における多文化音楽教育に対する意識

第1節 The Contemporary Music Projectにおける *Source Book of African and Afro-American materials for Music Educators* (1972) にみる多文化音楽教育の特徴

第1項 CMPの活動の概要

第2項 *CMP*₇ (1972) にみられる多文化的な側面

第3項 *CMP*₇の概要

第4項 *CMP*₇の特徴

第2節 『学校音楽プログラム』(1974) にみる多文化音楽教育的側面

第1項 『学校音楽プログラム』にみられるカリキュラム構成

第2項 『学校音楽プログラム』の特徴

第3節 1970年代初期における多文化音楽教育の特徴

第3章 *MEJ* (1967-1983) にみる音楽教育者の関心事と多文化音楽教育

第1節 World Music 及びアフリカ系アメリカ人の音楽への関心の高まり (1967-1971)

第1項 World Music に関する記事

- 第2項 アフリカ系アメリカ人に関する記事
- 第3項 Jazz 及び Rock に関する記事
- 第2節 多文化音楽教育への関心の高まり (1972-1983)
 - 第1項 World Music に関する記事
 - 第2項 アフリカ系アメリカ人に関する記事
 - 第3項 Jazz 及び Rock に関する記事
 - 第4項 多文化音楽教育に関する記事
- 第3節 MEJ (1967-1983) にみる多文化音楽教育の特徴
- 第II部 多文化音楽教育発展の過程 (1984-1994)
 - 第4章 多文化音楽教育における World Music の学習と文化理解
 - 第1節 ウェスリアンシンポジウム (1984) にみる World Music の学習に対する認識
 - 第1項 ウェスリアンシンポジウムにおける討議内容の概要
 - 第2項 ウェスリアンシンポジウムにみる World Music の学習の重要性
 - 第2節 The Butler World Music Project (1986) にみる World Music の学習に対する認識
 - 第1項 The Butler World Music Project の概要
 - 第2項 The Butler World Music Project の成果
 - 第3節 1980年代の多文化音楽教育における World Music の位置付け
 - 第5章 MEJ (1984-1994) にみる多文化音楽教育の展開
 - 第1節 World Music に関する記事
 - 第2節 女性の音楽家や教師に関する記事
 - 第3節 アフリカ系アメリカ人に関する記事
 - 第4節 Jazz 及び blues に関する記事
 - 第5節 多文化音楽教育に関する記事
 - 第6節 MEJ (1983-1994) にみる多文化音楽教育の特徴
 - 第6章 音楽教科書及び『授業計画集』の指導例における多文化音楽教育的側面
 - 第1節 音楽教科書 *World of Music* (1988) における World Music 及び多文化の音楽の学習
 - 第1項 *World of Music* における「多文化の音楽」に対する認識
 - 第2項 「多文化の音楽」の学習と関連がある学習内容
 - 第2節 *Multicultural Perspective in Music Education* (1989) における多文化音楽教育
 - 第1項 取り扱われている音楽
 - 第2項 対象学年及び学習の過程
 - 第3項 文化的内容を含む学習目標及び学習内容
 - 第4項 *Multicultural Perspective in Music Education* (1989) の特徴
 - 第3節 *Teaching Music with a Multicultural Approach* (1991) における多文化音楽教育
 - 第1項 取り扱われている音楽
 - 第2項 対象学年及び学習の過程
 - 第3項 文化的内容を含む学習目標及び学習内容
 - 第4項 *Teaching Music with a Multicultural Approach* (1991) の特徴

- 第4節 理念と実践との乖離の実態
- 第7章 MENCの全米芸術教育標準(1994)における多文化音楽教育
 - 第1節 全米芸術教育標準における多文化音楽教育の位置付け
 - 第2節 「学校音楽プログラム」(1994)にみる多文化的視点
- 第III部 多文化音楽教育の拡大及び一般化(1995-2014)
 - 第8章 音楽教育者による多文化音楽教育に対する認識
 - 第1節 「多文化の音楽に関する全米シンポジウム」(2006, 2008)にみる多文化音楽教育
 - 第1項 「多文化の音楽に関する全米シンポジウム」の概要
 - 第2項 「多文化の音楽に関する全米シンポジウム」(2006, 2008)に対する期待
 - 第3項 「多文化の音楽に関する全米シンポジウム」(2006, 2008)での討議内容
 - 第4項 「多文化の音楽に関する全米シンポジウム」(2006, 2008)にみられる多文化音楽教育の特徴
 - 第2節 「多文化の音楽に関する全米シンポジウム」における成果
 - 第9章 MEJ(1995-2014)にみる多文化音楽教育観の変容
 - 第1節 World Musicに関する記事
 - 第2節 アフリカ系アメリカ人等に関する記事
 - 第3節 Jazz及びBlues等に関する記事
 - 第4節 多文化音楽教育に関する記事
 - 第5節 MEJ(1995-2014)にみる多文化音楽教育の特徴
 - 第10章 音楽教科書及び『授業計画集』の指導例における多文化音楽教育観の変容
 - 第1節 音楽教科書 *The Music Connection* (1995)における多文化音楽教育
 - 第1項 関連学習における多文化的視点
 - 第2項 *The Music Connection*における多文化的情報
 - 第3項 「包括的なテーマに関する計画」における多文化的視点
 - 第4項 *The Music Connection*における多文化音楽教育の位置付け
 - 第2節 音楽教科書 *Silver Burdett Making Music* (2008)における多文化音楽教育
 - 第1項 ユニット及びモジュールの概略にみる多文化的視点
 - 第2項 関連学習「文化的関連」にみる多文化的視点
 - 第3項 *Making Music*における文化的側面からみた多文化的観点
 - 第3節 *Multicultural Perspective in Music Education 2nd edition* (1996)における多文化音楽教育
 - 第1項 取り扱われている音楽
 - 第2項 対象学年及び学習の過程
 - 第3項 文化的内容を含む学習目標及び学習内容
 - 第4項 *Multicultural Perspective in Music Education 2nd edition* (1996)の特徴
 - 第4節 *Music in Cultural Context: Eight View on World Music Education* (1996)における多文化音楽教育
 - 第1項 取り扱われている音楽

- 第2項 対象学年及び学習の過程
- 第3項 文化的内容を含む学習目標及び学習内容
- 第4項 *Music in Cultural Context: Eight View on World Music Education* (1996) の特徴
- 第5節 *Making Connections: Multicultural Music and the National Standards* (1998) における
多文化音楽教育
 - 第1項 取り扱われている音楽
 - 第2項 対象学年及び学習の過程
 - 第3項 文化的内容を含む学習目標及び学習内容
 - 第4項 *Making Connections: Multicultural Music and the National Standards* (1998) の特徴
- 第6節 *Multicultural Perspective in Music Education 3rd edition* (2010) における
多文化音楽教育
 - 第1項 本授業計画集の内容構成とその特徴
 - 第2項 学習目標及び学習内容
 - 第3項 全米芸術教育標準との関わり
 - 第4項 *Multicultural Perspective in Music Education 3rd edition* の特徴
- 第7節 理念と実践との乖離の実態
- 結章 米国における多文化音楽教育の特徴及び意義と課題
 - 第1節 米国における多文化音楽教育の理論と実践の乖離の原因
 - 第2節 米国の多文化音楽教育の特徴と意義
 - 第3節 米国の多文化音楽教育に対する批判
 - 第4節 今後の課題

文献

論文要約

序章

第1節 本研究の背景

外国人人口の増加、また異なる文化的背景をもつ子どもたちの増加に伴い、近年わが国において多文化共生推進の取り組みが行われている。例えば総務省は、外国人労働者の労働環境や、外国人児童生徒教育、外国人登録制度等、国の各制度の見直しが不可欠であるとして、「多文化共生推進プラン」を掲げた（総務省、2006）。このプログラムでは、外国人支援の取り組みを実施するだけでなく、日本人住民側の多文化共生に関する意識啓蒙の重要性も含まれている。しかし、学校教育においては多文化共生に向けた取り組みはほとんど行われていない。その原因として森茂（2011）は、多文化共生にむけた取り組みが、マイノリティである在日外国人児童生徒、特にニューカマーの児童生徒のための教育支援の問題として実践研究が行われてきたことを指摘している。音楽教育においても、わが国における多文化音楽教育の展開の可能性を論じた研究はあるものの、実際の教育現場での実践はほとんど行われていない。したがって、先駆的に多文化音楽教育を実践している米国がどのような過程を辿って今日に至ったのか、また多文化音楽教育がどのような目的を有しながら受容されてきたのかを明らかにすることは、わが国の音楽教育においてどのように多文化共生といった目的に寄与できるのか、重要な示唆を得ることができると考える。さて多文化教育は、文化的マイノリティの視点に立ち、社会的公正という立場から、多様な人種、民族、文化集団の共存・共生を目指す教育であり、米国においては1960年代以降の公民権運動の高揚とともに、少数民族の文化研究から、当時の「補償教育」の方向性とも相まって、全米的な教育実践に発展していった。多文化教育の第一人者である Banks（2013）は、多文化教育の目的を「国内のエスニックや文化の多様性を理解すること、異なる文化の理解を通して一国内で共生するための知識、態度、スキルを獲得すること、文化的マイノリティに対する差別を撤廃することである」と述べている。このような目的を有する多文化教育の影響を受けて、米国の音楽教育界においても多文化音楽教育の実践がこれまでに進められてきた。先駆的に多文化音楽教育研究を行っている Campbell（1993）は、「多文化音楽教育とは、人種、民族の起源、年齢、階級、性、宗教、ライフスタイルによって特徴付けられるグループの音楽を学習することである。」と述べている。しかし多文化音楽教育が、音楽の学習によって文化的マイノリティとされる人々との共生を目的としているにも関わらず、2008年に米国において音楽教育者の主要な団体である Music Educators National Conference（以下、MENC¹⁾）の後援を得て開催された「多文化の音楽に関する全米シンポジウム」の報告書を概観すると、その実態は World Music の学習や、音楽の諸要素の学習に比重が置かれている状況である。以上より、本研究では、米国における多文化音楽教育という領域がいかなるものであるのか、という問題意識を背景として、1960年代後半から現在までの米国の多文化音楽教育がどのように受容され、さらに展開されてきたのかを明らかにする。

第2節 先行研究の検討

米国の多文化音楽教育の歴史に関する主な先行研究として、Campbell（1993）や Volk（1993）、磯田（2003）が挙げられる。Campbell の理念の特徴は、Multiethnic Music Education と World Music

Education の側面から多文化音楽教育を論じている点である。Multiethnic Music Education が学習者の集団や文化的マイノリティの音楽に焦点を当てるのに対して、World Music Education は世界中の様々な音楽様式を扱うことや、音楽の構成要素の学習を行うことが特徴として挙げられている。Volk は、米国の音楽教育において民族音楽の学習が発展していく過程を多文化音楽教育の歴史として広く捉えている。一方磯田は、米国においてマイノリティとされる子どもたちの学習機会の平等がいかんして目指されたのか、また偏見を排除するためのカリキュラムをどのように開発してきたのかという視点から、1960年代以降の米国における多文化音楽教育の歴史に関して論じている。ここで、本研究における多文化音楽教育の定義について言及する。様々な先行研究で多文化音楽教育の定義について述べられているが、そのなかで共通する点が“文化的マイノリティの音楽や対象となる人々に対する理解”という視点である。したがって本研究では、多文化音楽教育を「世界の様々な国、地域、及び民族の音楽を単に学習するこれまでの音楽教育とは性質を異にするものであり、異なる文化的背景をもつ人々を尊重し一国内で共生できる力を育成するために、米国内における文化的・民族的マイノリティに対する理解を音楽の学習を通して行う教育」であると定義付ける。さて、現在の多文化音楽教育は理論と実践の間にずれが生じていることは前述した通りだが、これまでの先行研究において、多文化音楽教育の理念と実践との乖離に注目した研究は存在しない。したがって筆者は、多文化音楽教育にとって不可欠な部分として World Music の学習が存在しているのではないかと、また多文化音楽教育を語る際、純粋に文化的マイノリティの音楽の学習と限定して捉えることはできないのではないかとという視点から検討を行う。

第3節 本研究の目的と方法

本研究では3つの時代区分で検討を行う。第1に、音楽教育界のターニングポイントともいわれるタングルウッドシンポジウムが開催された1967年から、Music Educaotrs Journal (以下、MEJ) で初めて多文化音楽教育の特集が組まれた1983年まで、第2に1984年から全米芸術教育標準が制定された1994年まで、第3に1995年から現在までである。研究を進めるうえでの主要な史料は、MENC (NAfME) の刊行物に掲載された多文化音楽教育に関連する記事及び論文、米国の音楽教科書及び教師用指導書、多文化音楽教育に関連する『授業計画集』及びシンポジウムの報告書、またその時代や多文化音楽教育に関する書籍等である。これらの検討を通して、本研究では、多文化音楽教育に対する考え方だけではなく、多文化音楽教育の指導法を追いながら、各時代の多文化音楽教育の特徴を明らかにしていく。以上より、多文化音楽教育の理念と指導法の間にある乖離の実態から、米国における多文化音楽教育の特徴及び意義と課題を明らかにすることを目的とする。

第1部 World Music への関心の高まりと多文化音楽教育導入の兆し (1967-1983)

第1章 音楽教育界の変化と改革

第1章では、音楽教育界のターニングポイントともいえるタングルウッドシンポジウム(1967)と、同シンポジウムを実現させるために行われたGOプロジェクト(1969)にみる多文化音楽教育の特徴を考察した。

多文化という視点からシンポジウムを鑑みると、第1に西洋音楽以外のジャンル、及び米国の

多様な民族の音楽をカリキュラムに導入しようとしたこと、第2にインナーシティにおける音楽教育に関して協議が行われたことが特徴として挙げられる。協議では、理念だけでなく実践に関する議論も行われ、文化的マイノリティの子どもたちの教育環境を整えること、彼らを教える教員養成プログラムの設置が提案される等、文化的マイノリティが抱える問題に対してより具体的な対策が練られた。また、教材の拡大といった側面から、これまで教育の現場で取り上げられることが少なかったジャンルの音楽及び問題に対して具体的な導入方法が協議された。以上より、このシンポジウムが後の多文化音楽教育の方向性を指し示す役割を担っていたことがわかる。また、タングルウッド宣言を実現するために行われたGOプロジェクトにおいても、西洋音楽以外のジャンルの音楽をカリキュラムに導入しようとしたことや、文化的マイノリティが抱える社会的問題に対応した音楽教育、及び教員養成に関して協議されたことを鑑みると、多文化的な側面から理論と実践をより結び付けた音楽教育が求められていたといえる。

第2章 1970年代初期の音楽教育における多文化音楽教育に対する意識

第2章では、多文化音楽教育という概念が少しずつ認識され始めた1970年代初期において、多文化的な視点が導入された *Source Book of African and Afro-American materials for Music Educators* (以下、CMP₇) (1972) 及び『学校音楽プログラム』(1974)を中心に、多文化音楽教育が音楽教育においてどのように扱われていたのかを明らかにした。

その結果、1970年代初期の多文化音楽教育の特徴として次の2点が挙げられる。第1に、包括的音楽家性の育成といった枠組みのなかに、多文化的な観点が含まれるようになったことである。また、包括的音楽家性を育成すると同時に、特にアフリカ系アメリカ人の音楽を音楽教育に導入することによって、様々な文化の音楽を肯定できる力を育成しようとした点は特徴的である。第2に、非西洋音楽を社会全体が共有すべき文化の1つとして認識している点である。『学校音楽プログラム』では、民族音楽、ポピュラー音楽、電子音楽といった様々な音楽が提示され、それらを様々な視点から分析することによって、多様な音楽の共通性や相違性を学習すること、また多種多様な音楽を肯定し自分自身で価値判断ができる能力の育成が目指された。

第3章 MEJ (1967-1983) にみる音楽教育者の関心事と多文化音楽教育

第3章では、当時の音楽教育者等が多文化音楽教育や World Music に対してどのように考えていたのか、また、タングルウッドシンポジウム等の影響を受けて当時の音楽教育がどのような方向性を有していたのかに関して MEJ の記事より考察した。

タングルウッド宣言をうけて、MEJ では 1960 年代後半以降、アフリカ系アメリカ人の音楽や世界の音楽の学習に関する記事が盛んに取り扱われるようになった。多文化音楽教育の展開を追ううえで、学習の主体が誰であるかということは非常に重要な視点である。とりわけこの期間にはアフリカ系アメリカ人と白人が主体として登場する。アフリカ系アメリカ人にとっての音楽の学習の目的は、黒人の音楽の学習を通して自身のルーツや文化を認識し、彼らのアイデンティティを育成することにあつた。また、黒人音楽の学習を取り入れた人種的偏見に対するカリキュラム開発を主張することで、そのような学習を偏見や差別と戦うという壮大な教育の一環として構想していた。一方で、白人を主体とした黒人音楽の学習では、アフリカ系アメリカ人のルーツや

文化を学習することを学習内容に取り入れようとする一方で、それらの音楽の学習は特徴的な音楽の諸要素の学習が中心となっている。また、World Music の学習の目的は、音楽の諸要素の学習を通して多様な音楽や文化が存在することを認識することであった。とりわけ、学習の展開例では、それぞれの音楽がもつ特徴的な要素の学習に比重が置かれており、多文化の音楽や文化を認識しようという考え方は存在するものの、様々な音楽を平等なものとして学ぶ World Music の学習という枠組みに強く設定されていたこと伺える。

第 II 部 多文化音楽教育発展の過程（1984-1994）

第 4 章 多文化音楽教育における World Music の学習と文化理解

第 4 章では、これまで行われてきた音楽の諸要素の学習に加えて、文化理解の側面が強調されてきた過程を、ウエスリアンシンポジウム（1984）及び The Butler World Music Project（以下、BWMP）（1986）の報告書より論じた。

これらの報告書の内容より、両者の特徴として以下のことが挙げられる。第 1 に、単に音楽的な諸要素の学習を行うのではなく、文化理解及び社会的機能の側面から World Music の学習を行おうとしている点、第 2 に、世界の様々な音楽が同等なものであるという認識が高まった点、第 3 に、音楽教育のすべてのレベルにおいて、World Music の学習を導入する重要性を問うている点、である。これまでの先行研究のなかでは、ウエスリアンシンポジウムが多文化音楽教育の一環として開催されてきたように捉えられている。また、多文化音楽教育研究の第一人者である Campbell も、これら 2 つの取り組みが多文化音楽教育の概念形成に大きな役割を果たしている指摘している。しかし、前述した特徴を考慮すると、必ずしも当時の音楽教育者が多文化音楽教育の一環として、これらの取り組みを捉えていたわけではないのではないだろうか。確かに、Campbell の主張からも明らかのように、一部の音楽教育者のあいだでは、これらの活動が多文化音楽教育の一環であると考えられていることは事実であるが、それは理論的なことであって実践にはほど遠いものであった。つまり、当時の音楽教育者の多くが関心を持ったのは、どのようにして多文化音楽教育を実現するかということよりも、これまで西洋音楽一辺倒だった音楽教育において、どのようにして西洋音楽以外の音楽、つまり World Music を導入するかであったと考えられる。以上より、1980 年代の多文化音楽教育における World Music の学習は、理想的には文化的側面の学習が重要視されてきている一方で、その実際は、教材の多様化とそれらの導入を試みる新たな方法論として捉えられていたといえる。

第 5 章 MEJ（1984-1994）にみる多文化音楽教育の展開

第 5 章では、MEJ の記事から、当時の音楽教育界において多文化音楽教育がどのように認識されていたのかを論じた。

1984 年から 1994 年の多文化音楽教育の特徴として次の 4 点が挙げられる。第 1 に、多文化音楽教育に対する認識が定着してきた点が挙げられる。1983 年に組まれた多文化音楽教育の特集以降、多文化的な観点を有した記事が大幅に増加していることや、その他の記事でも多文化という言葉が頻繁に登場するようになってきたことは、音楽教育において多文化主義的な学習の必要性に対する認識が定着してきた表れであるといえよう。第 2 に、文化的マイノリティを示すカテゴ

リーが拡大した点が挙げられる。これまでは、アフリカ系アメリカ人を中心とした米国の様々な民族を主に指していたが、1980年中盤以降それらに加えて女性をも含むようになったのである。第3に、多文化音楽教育のアプローチ方法が多岐に渡っていった点が挙げられる。これは、1984年のウエスリアンシンポジウム等、多文化的な音楽教育への関心が大きく高まったことが影響している。第4に、米国の様々なエスニックから誕生したジャンルの音楽が音楽教育に積極的に取り入れられている点が挙げられる。西洋音楽以外のジャンルの音楽はこれまでも多々掲載されていたが、それに加えて学習内容に歴史的な背景を盛り込んでいることは大きな特徴であるといえる。以上より、1980年代以降の音楽教育において文化的マイノリティが指すものが人種や民族に留まらずジェンダーを含むようになり、より具体化したことは特筆すべき点である。

第6章 音楽教科書及び『授業計画集』の指導例における多文化音楽教育的側面

第6章では、音楽教科書及び多文化音楽教育に関する『授業計画集』を中心に、実践レベルでのWorld Music及び多文化の音楽の導入方法から、理念と指導法の間にある乖離の実態を示した。

西洋音楽にとらわれずに、世界の様々な地域の音楽を扱った *World of Music* (1988) であるが、本教科書は1960年代後半から1970年代にかけて西洋音楽以外の音楽が音楽教育界において注目され始めたことに影響を受けている。また、文化的背景を伴う音楽の学習が必要であるとする音楽教育者が増加したことも特徴の1つとして挙げられる。そのために、前述した音楽教科書や『授業計画集』には、多文化の音楽や文化的な学習が盛り込まれている。当時の多文化音楽教育は、多文化教育の目的の1つである差別や偏見の打破を目指して多文化音楽教育としてどのようにそれを実現するかということよりも、「多文化の音楽」は「World Music」として広範囲に捉えられ、どのようにして西洋音楽以外の音楽、つまりWorld Musicを導入するかに焦点が当てられ、それらの音楽と文化の関係を理解することが多文化的な学習であると捉えられていた。

第7章 MENCの全米芸術教育標準(1994)における多文化音楽教育

第7章では、MENCが制定した全米芸術教育標準及び『学校音楽プログラム』において、多文化音楽教育がどのような位置付けとなっているのかを明らかにした。

全米芸術教育標準の序文では、「文化的多様性を取り入れた標準」と題されたカリキュラム規準のなかで、米国が多様な文化、伝統、およびバックグラウンドを有した人々から成ること、またその多様性の学習を学校教育に取り入れるべきであること、さらに民族性、習慣、伝統、宗教、およびジェンダーの問題も扱うべきであること、等が明記されている。また、全米芸術教育標準から音楽領域を抜粋した『学校音楽プログラム』では、各学年の目標のなかに、「生徒は、自分自身の、また彼らのコミュニティとそれを越えた他者の歴史的・文化的伝統を理解しなければならない。」(Grades K-4)、「社会的な態度と振る舞いを形成する文化的で歴史的な影響を理解することによって、ますます文化的となるコミュニティで生活し活動するための準備をする必要がある。」(Grades 5-8)といった多文化的な観点を有した目標が含まれている。さらに、児童・生徒が達成すべき能力として9つの「内容標準」が示されているが、9つの「内容標準」のうち、多文化音楽教育と関連がある文化及び歴史的背景の学習を含む内容標準として、「内容標準」9:「歴史や文化との関連における音楽の理解」が設定されている。

第 III 部 多文化音楽教育の拡大及び一般化 (1995-2014)

第 8 章 音楽教育者による多文化音楽教育に対する認識

第 8 章では、MENC が開催した「多文化の音楽に関する全米シンポジウム」(2006, 2008) を取り上げ、当時の多文化音楽教育に対する認識、及び同シンポジウムの歴史的意義を考察した。

まず、このシンポジウムの特徴として以下の 4 点が挙げられる。第 1 に、World Music が今日においても多数取り上げられていること。第 2 に、学習者の多様性に即したカリキュラムの開発を目指していること。第 3 に、幼稚園レベルから大学レベルまで一貫した教育戦略を構築しようとしていること。第 4 に、実践レベルへ多文化音楽教育が浸透していることである。以上より、多文化音楽教育における学習者層の拡大、またそれに伴う教員養成教育における認識の変化、学習者の実態に応じた多文化音楽教育の展開の 2 点が強調されたことが、このシンポジウムの特徴であった。また、これまで差別や偏見を軽減させることに対する意識の低さ、また多文化教育本来の目的に対する意識の低さが指摘されてきたことを鑑みると、米国社会が抱える問題に対する具体的な方策をシンポジウムにて討議した点は特筆すべき点である。さらに、これまで多文化音楽教育と称する学習に多く含まれていた音楽の諸要素の学習及び文化や歴史の学習には、その活動の目的に変化の兆しがみられた。多文化教育の目的を掲げながらも、その内容は World Music の学習や民族音楽の学習と実質上相違なかった従来の多文化音楽教育であったが、このシンポジウムを通して、知識理解だけではなく、音楽経験を重視した態度の育成という新たな視点が提示されたことの意義は大きい。

第 9 章 MEJ (1995-2014) にみる多文化音楽教育観の変容

第 9 章では、MEJ の記事から当時の多文化音楽教育の現状について論じた。

MEJ の記事にみられる、1995 年から 2014 年までの米国における多文化音楽教育の特徴として次の 3 点が挙げられる。第 1 に、多文化の音楽を導入した音楽学習を実践レベルで可能にするための手段が多岐に渡っていること。第 2 に、多文化音楽教育の理念だけではなく、学習アプローチの側面に関心が向けられていること。第 3 に、米国の様々なエスニックから誕生したジャンルの音楽をカリキュラムに積極的に導入しようとしていることである。これらの背景には、1994 年に制定された全米芸術教育標準において、カリキュラムに多文化音楽教育の考え方が盛り込まれたことが挙げられる。このことによって、文化的背景や歴史的背景の理解が目標に取り入れられた実践が多くなり、実践レベルでの多文化音楽教育の定着が成されていったのである。以上より、1995 年から今日までの多文化音楽教育は、理念的な側面だけではなく、それをどのように実践していくかを模索していった時代であったといえる。

第 10 章 音楽教科書及び『授業計画集』の指導例における多文化音楽教育観の変容

第 10 章では、音楽教科書及び多文化音楽教育に関する『授業計画集』から、理念と指導法の間にある乖離の実態を示した。

1994 年以降、全米芸術教育標準に基づいた実践例が多数提案されてきた。そのために、1994 年以前と比較すると、音楽の諸要素の学習に留まらず、文化や歴史の学習を取り入れた実践例が多数提案されている。また、1995 年からは定期的に「多文化の音楽に関する全米シンポジウム」

が開催され、多文化の音楽の導入方法等が議論される等、多文化音楽教育が音楽教育のなかで徐々に一般化してきた点が1995年以降の特徴として挙げられる。また、2006年及び2008年に開催された同シンポジウムでは、「多文化の音楽」は「World Music」として捉えられ、World Musicの学習を通して学習者に多文化的な経験をさせることに重点が置かれている。多文化音楽教育に関する『授業計画集』においても、歴史的・文化的背景の学習を行いながら身体表現等を通して学習者の多文化的な経験が重要視された。以上より、これまで音楽や文化的背景の知識・理解に重点が置かれがちであった多文化音楽教育の学習から、音楽経験を通じた、多文化社会に対応できる態度の育成へとその目的が変容していることが1995年以降の特徴として指摘できる。

結章 米国の多文化音楽教育の特徴及び意義と課題

第1節 米国における多文化音楽教育の理論と実践の乖離の原因

以上のように、本研究では多文化音楽教育の理論と実践の間に乖離があることを指摘してきた。このような乖離が生じる原因として、以下の2点が考えられる。

第1に、「多文化の音楽」という用語が、文化的マイノリティとされる人々の音楽に限定されず、より幅広い音楽を指していることが挙げられる。それは、地域や民族に限定されず、ロックやJazz、また新たなカテゴリーとして現れたワールドビート等も含まれる。このような音楽を扱う場合、差別撤廃や一国内での共生を目的とするよりも、むしろ様々な音楽に触れ、演奏経験を積むことが重視されたと考えられる。したがって、「多文化の音楽」とされる多様な音楽を導入する際に、音楽の諸要素の学習に重点を置くのか、それとも文化や歴史の学習に重点を置くのか、その目的を明確にすることが容易ではなかったことが乖離の原因の1つとして考えられる。

第2に、多文化音楽教育において、音楽の諸要素の学習を完全に切り離すことができないことが挙げられる。多文化教育を論じる際に重要になるのは、平等や公平といった概念であるが、近年音楽教育においても差別や偏見といった問題解決を行うための指導事例が提案されている。しかし、現実問題として彼らが主張するような指導のみを行うのであれば、それは本来の音楽科教育とは異なった方向性をもつことになるであろうし、このような活動が重視されれば、それは音楽教育の目的からは逸脱することとなり、多文化教育としてのみ成立してしまう可能性もある。そこで今日の多文化音楽教育の学習で多く提案されているのが、様々な音楽の学習を通して学習者に多文化的な経験をさせることであった。

第2節 米国の多文化音楽教育の特徴と意義

以上を踏まえて、今日の多文化音楽教育の特徴として以下の点を指摘する。

第1に、多文化音楽教育における学習の目的が、音楽の文化的背景の理解から音楽経験を通じた多文化社会に対応できる態度の育成へと変化したことである。多様な知識や技術を必要とする多文化音楽教育の指導は、現場の教師にとっては非常に困難なものであったが、学習方法の1つとして注目されている演奏を中心とした体験型の学習活動は、この困難さを緩和しつつも学習者に対して効果的な学習を提供できるものとして捉えられていると考えられる。

第2に、多文化音楽教育とWorld Musicの学習が完全に切り離すことができない存在であり、今日の多文化音楽教育は、多文化教育と音楽教育のハイブリッドとしての方向性を有しているこ

とである。今日の多文化音楽教育の実態を考えるならば、多様な音楽経験によって他者の心情を体感することにより、異なる文化を受容する寛容性という意味での態度の育成、という点において多文化教育の目的に寄与しつつも、様々な音楽の学習を通して音楽そのものの本質的な理解も行おうとする音楽教育としての役割も同様に担っていると考えられるのである。

以上の特徴から、米国における多文化音楽教育の意義として以下の点を指摘する。第1に、知的理解ではなく経験を通じた態度の育成をねらいとしていることから、これまでの自分自身の態度を変えていくという意味で直接的に多文化教育にも寄与できること、第2に、文化が創りだされた過程や変化を体験する多文化的な音楽経験が、これまでの価値観とは異なる枠組みで音楽に接することができる態度を育成することである。

第3節 米国の多文化音楽教育に対する批判

さて多文化教育は、カリキュラムの多様化や教師の文化に対する理解の向上、また言語的側面における教育の機会を保証している等、多くの点においてその重要性が認識されている。その一方で、多文化教育や多文化音楽教育には、様々な批判もある。例えば Schlesinger (1992) は、多文化主義の運動に対して、垣塙の理想を批判し、分離した人種・民族コミュニティを保持、助長しており、多文化主義は米国を分裂させてしまう恐れがあると主張している。同様の批判は、多文化音楽教育においてもみられ、例えば、民族や階級といった違いを強調することで、民族間、階級間の分裂をもたらしていること、そして差別や不平等を失くすための取り組みとして諸民族の音楽が強調されすぎていることが挙げられている。

第4節 今後の課題

本研究では、1960年代後半以降、米国においてどのように多文化音楽教育が受容されてきたのか、理論と実践の乖離に着目しながらその展開を追ってきた。本研究の対象にしたのはあくまでも MENC (2011年以降のみ NAfME) による多文化音楽教育に関する史料であり、多文化音楽教育が実際にどのように実践されているのか、その実態に触れることはできていない。また、大学及び教員養成における多文化音楽教育の導入についても、その課題や重要性については明らかにできたが、実際にどのような取り組みが行われているのか、実態の解明には至っていない。従って、本研究で明らかになった枠組みを基に多文化音楽教育の実態を明らかにするために、現場での実践や大学における取り組みを射程に入れた研究が今後必要である。

注

1) MENC は 2011 年以降、National Association for Music Education (NAfME) として活動を行っている。本研究では、2011 年以前の NAfME の活動については MENC と表記する。

主要文献

i. 史料

- Anderson, W. M., "Teaching Musics of the World: A Renewed Commitment", *Music Educators Journal*, Vol. 67, No. 1, 1980, p. 38.
- Anderson, W. M., "The teacher as translator of culture", *Music Educators Journal*, Vol. 69, No. 9, 1983, p. 32.
- Baker, G. "Policy issues in multicultural education in the United States", *Journal of Negro Education*, Vol. 48, No. 3.
- BCAC., "Overcoming Cultural Racism: Profile of Black Community Arts Center.", *Music Educators Journal*, Vol. 58, No. 3, 1971, pp. 42-45.
- Bell, M. L., Droke, M., "The Blues, Jazz, Bluegrass, Country & Western, Soul, Rock Experience.", *Music Educators Journal*, Vol. 67, No. 8, 1981, pp. 52-55.
- Blair, D. V., Kondo, S., "Bridging Musical Understanding through Multicultural Musics", *Music Educators Journal*, Vol. 94, No. 5, 2008.
- Boyer, H. C., "Gospel Music.", *Music Educators Journal*, Vol. 64, No. 9, 1978, pp. 34-43.
- Campbell, P. S., "Marked and Molded by Multiculturalism", *American Music Teacher*, Vol. 42, No. 6, 1993, p. 15.
- Campbell, P. S., "Mellonee Burnim on African American Music", *Music Educators Journal*, Vol. 82, No. 1, 1995, pp. 41-48, Campbell, P. S., "Steven Loza on Latino Music", *Music Educators Journal*, Vol. 82, No. 2, 1995, pp. 45-52.
- Choate, R. A., Fowler, C. B., Brown, C. E., Wersen, L. G., "The Tanglewood Symposium-Music in American Society", *Music Educators Journal*, Vol. 54, No. 3, 1967, pp. 49-80.
- Cox, B. Y., "Multicultural Training: A Missing Link in Graduate Music Education", *Music Educators Journal*, Vol. 67, No. 1, 1980, p. 38.
- Dodds, J. P. B., "Music as a multicultural education", *Music Educators Journal*, Vol. 69, No. 9, 1983, pp. 33-34.
- Fung, C. V., "Rationales for Teaching World Musics", *Music Educators Journal*, Vol. 82, No. 1, 1995, p. 36.
- Gamble, S., "A multicultural curriculum", *Music Educators Journal*, Vol. 69, No. 9, 1983, pp. 39-41.
- Garfias, R., "Music in the United States: Community of cultures", *Music Educators Journal*, Vol. 69, No. 9, 1983, pp. 30-31.
- George, L. A., "African music through the eyes of a child", *Music Educators Journal*, Vol. 69, No. 9, 1983, pp. 47-49.
- Gonzo, C., "Multicultural Issues in Music Education", *Music Educators Journal*, Vol. 79, No. 6, 1993, p. 33.
- Hawes, B. L., "Our cultural mosaic", *Music Educators Journal*, Vol. 69, No. 9, 1983, pp. 26-27.
- Heller, G. N., "Retrospective of multicultural music education in the United States", *Music Educators Journal*, Vol. 69, No. 9, 1983, pp. 35-36.
- Hinckly, J., "Urban Music Education: Providing for Students", *Music Educators Journal*, Vol. 82, No. 1, 1995, p. 32.
- Keating, S. M. T., "Jazz: A Tanglewood Conversation.", *Music Educators Journal*, Vol. 57, No. 7, 1971, pp. 55-56.
- Luty, B., "Jazz Education's struggle for acceptance.", *Music Educators Journal*, Vol. 69, No. 3, 1982, pp. 38-39., p.53.
- Mark, M. L., "From Tanglewood to Tallahassee in 32 Years", *Music Educators Journal*, Vol. 86, No. 5, 2000, pp. 25-28.
- McNeil, A. J., "The Social Foundations of the Music of Black Americans.", *Music Educators Journal*, Vol. 60, No. 6, 1974, pp. 43-46., pp. 81-82.
- Menon, Narayana., "Music of Southeast Asia", *Music Educators Journal*, Vol. 59, No. 2, 1972, pp. 40-43.
- Morgan, H., "Music-A Life Force in the Black Community.", *Music Educators Journal*, Vol. 58, No. 3, 1971, pp. 34-37.
- Phillips, R. E., "Black Folk Music: Setting the Record Straight.", *Music Educators Journal*, Vol. 60, No. 4, 1973, pp. 41-45.
- Pleasants, H., "Afro-American Epoch-Emergence of a New Idiom.", *Music Educators Journal*, Vol. 57, No. 1, 1970, pp. 33-37.
- Reeder, B., "Afro Music: As Tough As a Mozart Quartet.", *Music Educators Journal*, Vol. 56, No. 5, 1970,

- pp. 88-90.
- Reeder, B., "Getting Involved in Shaping the Sounds of Black Music", *Music Educators Journal*, Vol. 59, No. 2, 1972, pp. 80-84.
- Reimer, B., "General Music For the Black Ghetto Child.", *Music Educators Journal*, Vol. 56, No. 5, 1970, pp. 94-97., pp. 145-152.
- Richard, K. F., DeCarbo, N. J., "Urban Music Education: The Teachers' Perspective", *Music Educators Journal*, Vol. 81, No. 6, 1995, p. 29.
- Robert, A. C., "Music in American Society: The MENC Tanglewood Symposium Project.", *Music Educators Journal*, Vol. 53, No. 7, 1967, pp. 38-40.
- Rossi, N., "Music of Argentina", *Music Educators Journal*, Vol. 59, No. 5, 1978, p. 51-53.
- Sakata, H. L., "Teaching introductory ethnomusicology classes", *Music Educators Journal*, Vol. 69, No. 9, 1983, pp. 42-43.
- Slobin, M., "Musics of West Asia-North Africa", *Music Educators Journal*, Vol. 59, No. 2, 1972, pp. 44-45.
- Smith, B. B., "Music of Hawai'i and Samoa: Exemplar of annotated resources", *Music Educators Journal*, Southen, E., "America's Black Composers of Classical Music.", *Music Educators Journal*, Vol. 62, No. 3, 1975, pp. 46-59.
- Standifer, J. A., "Arts Education Deseves a Black Eye.", *Music Educators Journal*, Vol. 55, No. 5, 1969, pp. 27-31.
- Standifer, J. A., "Comprehensive Musicianship: A Multicultural Perspective—Looking Back to the Future", *Applications of Research in Music Education Spring-Summer*, vol.10, No.2, 1992, p. 12.
- Still, W. G., "The Negro Musician in America.", *Music Educators Journal*, Vol. 56, No. 5, 1970, pp. 100-101., pp. 157-161.
- Susilo, H., "Musics of Northeast Asia", *Music Educators Journal*, Vol. 59, No. 2, 1972, pp. 35-39.
- Tait, M., "World Musics: Balancing Our Attitudes and Stratagies", *Music Educators Journal*, Vol. 61, No. 8, 1975, pp. 28-32.
- Velleman, B. L., " Speaking of Jazz: Jazz Improvisation through Linguistic Methods.", *Music Educators Journal* , Vol. 65, No. 2, 1978, pp. 28-31
- Wersen, L. G., "Tanglewood: A Beginning.", *Music Educators Journal*, Vol. 55, No. 1, 1968, pp. 40-45.
- Wiskirchen, G. C., "If We're Going To Teach Jazz, We Must Teach Improvisation.", *Music Educators Journal*, Vol. 62, No. 3, 1975, pp. 68-74.
- Young, A., "Black musicians Leading the way.", *Music Educators Journal*, Vol. 68, No. 6, 1982, pp. 46-50.

ii. 参考文献

- Abril, C. R., "Beyond content integration: Multicultural dimensions in the application of music teaching and learning", Ph. D. dissertation, Ohio State University, 2003.
- Anderson, W. M. & Campbell, P. S. (eds.), *Multicultural Perspective in Music Education*, MENC, 1989.
- Anderson, W. M. & Campbell, P. S. (eds.), *Multicultural Perspective in Music Education 2nd edition*, MENC, 1996.
- Anderson, W. M. & Campbell, P. S. (eds.), *Multicultural Perspective in Music Education 3rd edition (Vol. 1-3)* , MENC, 2010.
- Anderson, W. M. & Moore, M. C. (eds.), *Making Connections: Multicultural Music and the National Standards*, MENC, 1998.
- Anderson, W. M., *Teaching Music with a Multicultural Approach*, MENC, 1991.
- Appell, G., Hemphill, D, *American Popular music: A Multicultural History*, Thomson Wadsworth, 2006.
- Banks, J. A., *An Introduction to Multicultural Education 4th edition*, Allyn and Bacon, 2013.
- Banks, J. A., Banks, C. M., *Multicultural education : issues and perspectives*, Wiley, 2009.
- Campbell, P. S., *Multicultural music: World of Music Series*, Silver Burdett & Ginn, 1988.
- Campbell, P. S., *The Butler World Music Project*, Central Printing Indianapolis, 1989.
- Campbell, P. S., *Music in Cultural Context: Eight View on World Music Education*, MENC, 1996.
- Campbell, P. S., *World Music, World playground multicultural activity kit*, Putumayo World Music, 2001.
- Campbell, P. S., Scott-Kassner, C., *Music in Childhood—From Preschool through the Elementary Grades* —, Schirmer Cengage Learning, 2010.
- Campbell, P. S., Caral Scott-Kassner., *Music in Childhood : from Preschool through the Elementary Grades (3rd edition)*, Schirmer Cengage Learning, 2010.
- Carlow, R., "Hearing others' voices: An exploration of the musical experiences of immigrant students who

- sing in high school choir”, Ph. D. dissertation, Maryland University, 2004.
- Choate, R. A. (ed.), *Documentary Report of the Tanglewood Symposium*, Music Educator National Conference, 1968.
- Consortium of National Arts Education Associations., *National Standards for Arts Education: What Every Young American Should Know and Be Able to Do in the Arts*, Music Educators National Conference, 1994.
- 降矢美彌子『地球音楽の喜びをあなたへ-未来の地球市民となる子どもたちのための多文化音楽教育-』現代図書, 2009。
- Melendez, W. R., Ostertag, V., Peck, J., *Teaching young children in multicultural classrooms: issues, concepts, and strategies*, Delmar Publishers, 1997.
- Droz, K. S., “The effects of an elementary multicultural music curriculum about Micronesia”, Ph. D. dissertation, Hawai’i University, 2007.
- Drummond, J., *Cultural diversity in music education: directions and challenges for the 21st century*, Australian Academic Pres, 2005.
- 遠藤克弥『多文化国家米国の高等教育への挑戦』勉誠出版, 2004。
- Emmanuel, L. J., “A music education immersion internship: Pre-service teachers’ beliefs concerning teaching music in a culturally diverse setting”, Ph. D. dissertation, Michigan States University, 2002
- Gerard, C., *Jazz in Black & White: Race, culture, and Identity in the Jazz Community*, Greenwood Press, 1998.
- Henry, M. C., *Handbook on multicultural child development*, Author House, 2006.
- Higgins, J., *Music of our world: multicultural festivals, songs and activities*, Hal Leonard, 2003.
- Higgins, J., Shank, B., *More music of our world: multicultural songs and activities for classroom and community*, Hal Leonard, 2005.
- 磯田三津子「北アメリカにおける多文化音楽教育概念の分析的検討」東京学芸大学『学校教育学研究論集』第2号、1999、pp. 51-60。
- 磯田三津子「『関連性をつくるー多文化的な音楽と全米標準』の授業計画の分析ー『全米芸術教育標準』にみる多文化音楽教育ー」東京学芸大学『音楽教育学研究論集』第2号、2000。
- 磯田三津子「アメリカの多文化音楽教育の成立過程における『マイノリティに関する委員会』の意義ー1970年代初頭における全米音楽教育者会議の取り組みを中心にー」日本音楽教育学会『音楽教育学』第30巻第4号、2001、pp. 15-25。
- 磯田三津子「P. S. キャンベルのカリキュラム構成の理論:アメリカの多文化音楽教育をめぐる」東京学芸大学『音楽教育学研究論集』第3号、2001、pp. 24-31。
- 磯田三津子「アメリカの多文化音楽教育における文化理解の思想:1984年ウエスリアンシンポジウムの内容の検討を通して」東京学芸大学『音楽教育学研究論集』第4号、2002。
- 磯田三津子「アメリカの多文化音楽教育における文化理解の特質ーアフリカ系アメリカ人の音楽学習を中心にー」『民族音楽研究』No.28, 2003, pp. 1-14
- 磯田三津子「MENC (全米音楽教育者会議) の音楽カリキュラムにみる多文化主義ー『学校音楽プログラム』の分析を通してー」日本国際理解教育学会『国際理解教育』第6巻, 2006, pp. 20-37。
- 磯田三津子『音楽教育と多文化主義ーアメリカ合衆国における多文化音楽教育の成立』三学出版、2010。
- Kuhn, W. F., “An examination assessing the impact of method of multicultural music instruction in a high school concert band rehearsal setting on students’ preference for and identification of multicultural music”, Ph. D. dissertation, Nebraska University, 2000.
- Lin, Pei-Ying., “Development of curriculum materials to teach American children about the culture of Taiwan through Taiwanese children’s songs”, Ph. D. dissertation, Missouri University, 2003.
- Lipman, D., *We All Go to Together: Creative Activities for Children to Use with Multicultural Folksongs*, Oryx Press, 1994.
- Lornell, K., Rasmussen, A. K., *Musics of multicultural America: a study of twelve musical communities*, Schirmer Books, 1997.
- Mark, M. L., *Contemporary Music Education 3ed edition*, Schirmer, 1996., p. 45.
- Mark, M. L., Gary, C. L., *History of American Music Education*, New York: Shirmer Books, 1992.
- Meidinger, V. F., “Multicultural music: Attitudes and practices of expert general music teachers in Oregon”, Ph. D. dissertation, Oregon University, 2002.
- Melendez, W. R., Ostertag, V., Peck, J., *Teaching young children in multicultural classrooms: issues, concepts, and strategies*, Delmar Publishers, 1997.

- Moore, M. C., Ewell, P., *Kaleidoscope of cultures: a celebration of multicultural research and practice : proceedings of the MENC/University of Tennessee national symposium on multicultural music*, The National Association for Music Education, 2010,
- Moore, op. cit. Campbell, P. S., *Multicultural music: World of Music Series*, Silver Burdett & Ginn, 1988.
- 森茂岳雄「アメリカの歴史教育における国民統合と多文化主義」『多文化主義のアメリカ 揺らぐナショナル・アイデンティティ』東京大学出版会, 1999。
- Music Educators National Conference, *Becoming Human Through Music: The Wesleyan Symposium on the Perspectives of Social Anthropology in the Teaching and Learning of Music*, ERIC Clearinghouse, 1985.
- National Commission on Instruction, *The School Music Program: Description & Standards*, Vienna, Va. Music Educators National Conference, 1974.
- Page, N., *Sing and Shine on! : An Innovative Guide to Leading Multicultural Song*, Heinemann, 2000.
- Pendle, K. (ed.), *Women&Music: A History*, Indiana, University Press, 1991.
- Press, D. P., *A multicultural portrait of America's music*, M. Cavendish, 1995.
- Ramos, G. R., “The effects of the use of songs and music on Puerto Rican 4 th graders’ attitudes toward the English class”, Ph. D. dissertation, Puerto Ricqn University, 2004.
- Robles De Melendez, W., Ostertag, V., *Teaching Young Children in Multicultural Classrooms: Issues, Concepts, and Strategies*, Delmar Pub, 2009.
- Robles De Melendez, W., Ostertag, V., *Teaching Young Children in Multicultural Classrooms: Issues, Concepts, and Strategies*, Delmar Pub, 2010.
- Schlesinger, Jr., A. M., *The Disuniting of America: Reflections on a Multicultural Society*, New Yore: W. W. Norton&Company, 1992.
- Schmidt, C. M., “multiculturalism and the representation of culture in the 1995 elementary Music series textbooks: a discourse analysis, Ph. D. dissertation, Wisconsin Madison University, 1999.
- Silver Burdett Ginn Team, *The Music Connection*, Silver Burdett Ginn, 1995. (Pre K- Grade 8)
- Sleeter, C. E., *Un-Standardizing Curriculum: Multicultural Teaching in the Standards-Based Classroom*, Teacher College Press, 2005.
- Smith, R. A., *General Knowledge & Arts Education: An Interpretation of E. D. Hirsch’s Cultural Literaacy*. Chicago, IL: University of Illinois Press, 1994.
- 総務省『多文化共生の推進に関する研究会報告書-地域における多文化共生の推進に向けて-』総務省, 2006, p. 2。
- 鈴木恵梨花「浜松における音楽を通じた多文化共生教育のあり方 : 外国人支援教育を越えて」文化政策研究, 第7巻, 2013, pp. 59-69。
- Standifer, J. A., Reeder, B., *Source book of African and Afro-American materials for music educators*, Contemporary Music Project., 1972.
- Steiner, S. F., *Promoting a Global Community: Thyough Multicultural Children’s Literature*, Libraries Unlimited, 2001.
- The National Association for Music Education., *The School Music Program A New Vision*, Rowman & Littlefield Education, 2007.
- 馬渕仁編著『「多文化共生」は可能か-教育における挑戦-』勁草書房, 2011, pp. 22-42。
- Various, *World of Music*, Silver Burdett & Ginn, 1988. (Pre K- Grade 8)
- Volk, T. M., “A History of Multicultural Music Education in the Public School of United States 1900-1990”, Ph. D. dissertation, Kent States University, 1993.
- Volk, T. M., *Music, Education, and Multiculturalism: Foundation and Principles*, Oxford University Press, 1998.
- Volk, T. M., *Music, Education, and Multiculturalism: Foundations and Principles*, OXFORD
- Zaretti, J. L., “Multicultural music education: An ethnography of process in teaching and learning”, Ph. D. dissertation, Indiana University, 1998.

iii. 参考 Web 資料

- Abril, C. R., “Music That Represents Culture: Selecting Music with Integrity” , *Music Educators Journal*, Vol. 93, No. 1, 2006.
<http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=22174148&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).
- Blair, D. V., Kondo, S., “Bridging Musical Understanding through Multicultural Musics” , *Music Educators Journal*, Vol. 94, No. 5, 2008.

- <http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=32481146&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).
- Campbell, P. S., “Middle Eastern Expansions on Cultural Diversity in Music Education” , *Music Educators Journal*, Vol. 90, No. 1, 2003.
<http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=10700017&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).
- Campbell, P. S., Lum, C., “Musical America: United yet Varied Identities for Classroom Use” , *Music Educators Journal*, Vol. 95, No. 1, 2008.
<http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=34153442&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).
- Dunbar-Hall, P., “Colliding Perspectives? Music Curriculum as Cultural Studies” , *Music Educators Journal*, Vol. 91, No. 4, 2005.
<http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=16251683&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).
- Ferguson, L., “Putting It Together: Integrating Jazz Education in the Elementary General Music Classroom” , *Music Educators Journal*, Vol. 90, No. 3, 2004.
<http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=11888484&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).
- Hill, C. F., “Korean Folk Music in Your Curriculum” , *Music Educators Journal*, Vol. 95, No. 1, 2008.
<http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=34153445&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).
- Kelly, S. N., Weelden, K. V., “Connecting Meaningful Music and Experiences in a Multicultural, Multimusical Classroom” , *Music Educators Journal*, Vol. 90, No. 3, 2004.
<http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=11888485&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).
- Lychner, J. A., “Instrumental Music Experiences from Mexico” , *Music Educators Journal*, Vol. 94, No. 4, 2008. <http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=31259081&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).
- McDonald, N. L., Fisher, D., Helzwe, R., “Jazz Listening Activities: Children’s Literature and Authentic Music Samples” , *Music Educators Journal*, Vol. 89, No. 2, 2002. <http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=8677158&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).
- Morin, F., “Learning across Disciplines: An Approach to West African Music” , *Music Educators Journal*, Vol. 89, No. 4, 2003,
<http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=9180987&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).
- National Curriculum in Practice, <http://eduwight.iow.gov.uk/curriculum/foundation/music/keystage4/>, (cited 2010-08-6)
- National Standards for Arts Education, <http://artsedge.kennedy-center.org/teach/standards.cfm>, (cited 2010-08-6)
- Parr, C., “Eight Simple Rules for Singing Multicultural Music” , *Music Educators Journal*, Vol. 93, No. 1, 2006. <http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=22174147&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).
- Rideout, R., “Whose Music? Music Education and Cultural Issues” , *Music Educators Journal*, Vol. 91, No. 4, 2003.
<http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=16251684&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).
- Robinson, N. R., “Who Is “At Risk” in the Music Classroom” , *Music Educators Journal*, Vol. 90, No. 4, 2004. <http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=12451056&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09)
- Turner, P. E., “Getting Gospel Going” , *Music Educators Journal*, Vol. 95, No. 2, 2008.
<http://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=afh&AN=35781306&site=ehost-live>, (cited 2009-09-09).